

第23回 関西高校模擬国連大会

—国際理解教育の視点から—

福田 和義

1. はじめに

模擬国連とは、学生が国連加盟国の各国の大使だと仮定して、担当国の立場に立って、実際の国連の手続・規則に従って国際問題を討議し、交渉し、世界が直面する課題の解決に向けて決議案を作成していくというものです。議事進行はすべて英語で行われます。

2. 模擬国連の歴史

模擬国連の起源は、1923年にハーバード大学で創設された「模擬国際連盟」にさかのぼります。第2次世界大戦後は国際連合創設に伴い後継として模擬国連(Model United Nations)が開始されました。その活動は国連のウェブサイトで紹介され、今までに米国や欧州を中心に20万人以上の大学生や高校生が参加しました。現在では世界35か国で年間400以上の模擬国連会議が開かれています。

3. 日本における模擬国連

日本においても、1980年代、欧米への留学から帰国した教員や学生によりしだいに大学や高校の授業に取り入れられました。そして、1983年に当時上智大学教授だった緒方貞子前国連難民高等弁務官の顧問の下「模擬国連実行委員会」が発足し、ニューヨークで開催される全米大会に日本代表団を派遣しました。これまでに延べ約8,000人の大学生が参加しています⁽¹⁾。

今日では全国規模の組織である「日本模擬国連」を中心に、様々な研究会・支部を有するほか、中学・高校でも課外活動に取り入れている学校もあり、一部の高校では授業の一環として模擬国連が行われています。

4. 関西高校模擬国連大会の歴史

上記の「模擬国連実行委員会」はその後「模擬国連委員会」に改名され、1990年には関西支部(当時)が設立されました。現在「日本模擬国連関西事務局」の下に京都研究会、神戸研究会、北陸支部、九州支部があります。関西高校模擬国連大会は1991年より京都外大西高等学校国際文化コースが中心となって開催され、参加校の高校生たちの英語学習の発表の場となっています。第1回大会から今年(平成25年)の第23回大会まで、延べ199校、約4,000名以上の高校生が参加しました⁽²⁾。

5. 第23回関西高校模擬国連大会の概要

平成25年は6月12日から14日まで国立京都国際会館で開催され、参加校は京都外大西高等学校、西大和学園高等学校、大阪YMCA国際専門学校、関西インターナショナルハイスクール、関西学院千里国際高等部、岡山学芸館高等学校、関西創価高等学校、洗足学園中学高等学校、立命館高等学校、立命館宇治高等学校の10校(225名)でした。



国立京都国際会館

私の勤務校は参加していませんが、京都外大西高等学校のマクレガー先生、久保井先生のご厚意で大

会を見学・取材させて頂くことができました。

今年の議題は以下の通りで、大会ではその解決策が討議されました。

“Water for Life”

～飲料水、公衆衛生、保護・保全～

水と公衆衛生の問題は地球的規模で危険な状態にあります。8億人の人々が清潔な水にあたりません。世界の人口の約40%の人が安全なトイレがなく苦しんでいます。毎年3,500万以上の人々が水に起因する病気で亡くなっています。毎日4,000人以上の子どもが水に起因する病気で亡くなっています。水に起因する死の約98%が途上国で引き起こされています。……以下省略……

(第23回関西高校模擬国連大会実施要項から抜粋)

生徒たちは下記(a)～(c)等の決議案を考えました⁽³⁾。

- (a) Create a special economic aid fund that would dramatically improve water facilities in least developed countries within 10 years.
- (b) Work with developing countries to centralize sewage and sanitation facilities, install water meters and create a fair water usage tax system for all countries.
- (c) Encourage more investment and development of desalination, purification and conservation technology and share this technology globally.

6. 参加校への取材

大会当日3校(A・B・C校と表記します)の先生が取材に応じてくれました。

- (①準備に要した期間・時間, ②どの教科で準備されたか, ③特に苦勞・工夫・留意された点/以下①, ②, ③と記す。)

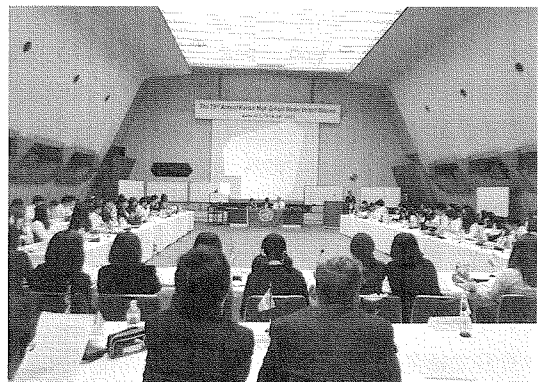
- A校**
- ①約5か月, 50時間
 - ②放課後の活動(リスニングトレーニング), PC教室(リサーチ)
 - ③自分の国益にこだわりすぎないように。同時に国益を損なうような理想論に走らないように。／聞いていたいと思わせるスピーチをする。

- B校**
- ①約2か月, 24時間
 - ②模擬国連(選択授業)
 - ③模擬国連のテーマに関する情報が多く、生徒たちに説明するのに時間がかかった。／扱う内容が社会的, 法律的, 政治的な内容と多岐にわたっていて, そのいずれの側面も生徒に伝えるよう工夫した。

- C校**
- ①約2か月, 48時間
 - ②Civics/エアスタディ/国際関係
 - ③毎年2～3月に1～3年全員が参加する校内MUN(模擬国連)を実施し, 本番を経験している3年生が後輩を指導している。

7. アンケートとその分析

参加校で, 私の勤務高校の姉妹校である関西インターナショナルハイスクールの3年生16名(全18名:回収率約88.9%)がアンケートに協力してくれました。



模擬国連を通して得たものとして, 次の9項目の中から上位5つにつき, □内に1位から5位の番号を記入してもらいました。

(選択した人数の多いものから順に)

私が『模擬国連』を通して得たもの

- 国際問題と、その深刻さに対する明確な国際意識。
(12名 16% : 内1位2名, 2位2名, 3位5名)
- 国際情勢や国連の仕組み、担当した国についての基礎データ・政治情勢などの知識。
(11名 15% : 内1位7名, 2位2名, 3位0名)
- 「自分の主張をうまく伝えられなかった」という悔しい思いをしたことこそが一番の貴重な体験。
(10名 13% : 内1位1名, 2位1名, 3位1名)
- 決議案を作成するまでの国連のルール・議論の仕方など。
(9名 12% : 内1位1名, 2位1名, 3位3名)
- 「国際協力」というありふれた言葉の奥深さ、複雑さ、本当の意味。
(9名 12% : 内1位0名, 2位2名, 3位1名)
- 英語(英会話)力。
(8名 11% : 内1位0名, 2位5名, 3位2名)
- 京都国際会議場で会議をするという、通常の授業では得られないような経験。
(7名 9% : 内1位3名, 2位0名, 3位0名)
- リーダーシップ、リサーチ力、チームワーク、スピーチ力、交渉力など。
(6名 8% : 内1位1名, 2位2名, 3位1名)
- かけがえのない仲間と、他校の生徒たちとの素晴らしい出会い。
(3名 4%)

☆その他(何でも、自由記述)

- ・リーダーシップ力はとても大切だと思った。
- ・最初は不安だったけど、楽しかった。
- ・9個とも全部得られたと思うので、順位をつけられない。よい経験ができてよかった。



8. まとめ

高校生が模擬国連会議に参加し、地球規模の課題について学習・討議することは大変貴重な経験です。単なる英会話の練習以上のものです。真剣で知的な学習を通じて真のグローバルな理解とともにコミュニケーション能力を高めることができます。

模擬国連のユニークな点は、いくら「世界の人々のために!」といっても自国の利益に反することはできず、お互いの妥協点を会議で探りあいながらよりよい決議を産み出していく、そのダイナミズムが体感できる点にあります。模擬国連の各メンバーは、会議前に自分が担当する国の政府の立場になってリサーチし、会議中は担当国の大使になりきって演じきらなければなりません。時には自分の考え方と全然違う国の大使になることもあります。いろんな「視点」から議題を考察し、オールイングリッシュで会話するという半端ではない「コミュニケーション能力」が要求されるのが模擬国連です。



大学生の模擬国連は20年以上の歴史がありますが、高校生にも機会を与えるために大学生で構成す

るグローバル・クラスルーム日本委員会が組織され、2007年に第1回全日本大会を開催しています。全日本高校模擬国連大会は東京に本部を置く国連大学が会場として使われ、以後優秀な高校生を国連本部（ニューヨーク市）で開催される国際大会に日本代表団として派遣しています。

他のグループと交渉する中で、いろいろな立場を理解した上で自分の意見をもつことの大切さを実感したことや、一緒に参加した生徒や他校の生徒との出会いは、きっと一生大切な財産になるに違いありません。

模擬国連を経験した日本のかつての高校生・大学生のなかには現在外務省や国連など第一線で働いている人がいます。国際社会でも通用する人材を育成するには、10代で世界に目を開かせ、ツールとしての語学力を磨き、議論に慣れさせることがとても大切です。模擬国連はそうした力をつける絶好の機会としてとても魅力的な取り組みです。

注

(1)NHK 総合・大阪(2013年8月17日放送)

「NHK スペシャル 緒方貞子 戦争が終わらないこの世界で」

(2)「関西高校模擬国連大会」の資料は京都外大西高等学校のANGUS McGREGOR先生、久保井一憲先生から頂きました。

(3)京都外大西高等学校 関西高校模擬国連大会事務局 <http://www.kufs.ac.jp/nishiko/MUN/#>

参考文献

日本模擬国連関東事務局(2008)『模擬国連ガイドブック 第2版』東京カラー印刷株式会社。

(天王寺学館高等学校常勤講師)